



京都南病院グループと地域を結ぶコミュニケーション情報誌

発行/特定医療法人 健康会 総合病院 京都南病院

みたび

vol.
120
2016年
夏号

CONTENTS

- 大腸CT検査について
- 京都南病院トイレ改修終了のお知らせ
- 新谷医師「防煙授業」に参加
- 京都南病院看護部長就任のごあいさつ
- 南病院を退職して 竹内 義幸

【今号の表紙】

京都南病院地下1階CT室
TOSHIBA社製 Aquilion CX

ちゃんと
知っとこ!

大腸CT検査について

大腸を炭酸ガスで満たし、腸管内を拡張させた状態で腹部～骨盤の範囲をCTで撮影する検査です。

大腸CTでは撮影したデータを元に画像処理を行うことができ、従来の検査とは別の視点から大腸の様子を知ることの出来る新しい検査です。内視鏡検査と同様に大腸内側の状態を調べる事ができる仮想内視鏡画像や大腸全体の形状を一目で確認することができる3次元画像をつくることができます。

また、身体の色々な角度の画像を作成できるので大腸以外の臓器の画像診断も行うことができます。

大腸検診の受診率は他の検診に比べて低く、さらに再検査となった場合の受診率も低いです。

その理由は、羞恥心や、内視鏡検査・バリウム検査時の痛みや苦痛によるものが大きいですが、大腸CTは検査時間も短く痛みも殆どありません。

大腸がんは早期発見・早期治療で治癒率の高い疾

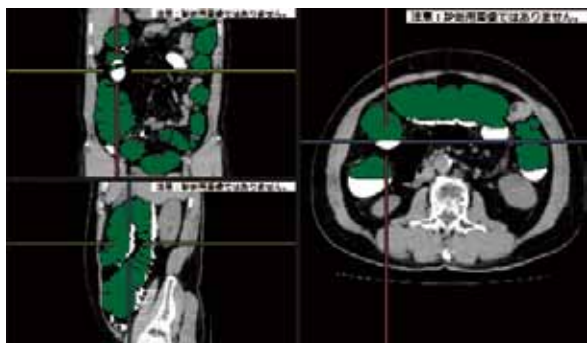
患ですので、大腸検診を従来の検査よりも気軽に受けることが出来る大腸CTは、新たな選択肢としてとても注目されています。

大腸CTのメリット・デメリット

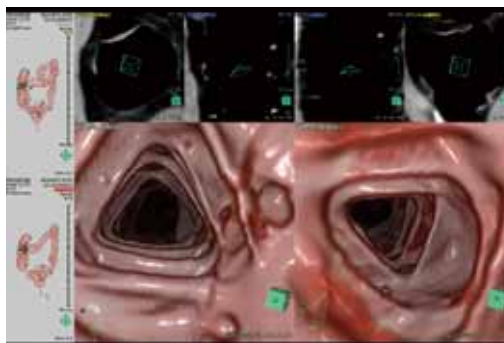
従来の検査同様に、大腸内を綺麗にするために下剤の服用や検査食を食べて頂く必要があります。

5mm以下の小さな病変は見つけにくく、また病変が見つかった場合は、より詳しく調べるために他の検査を受けて頂く必要があります。

ただし、上記のように大腸CT検査では従来の検査より身体的負担が少なく、短い検査時間で安全に正確かつ多くの情報を得ることができるようになりました。さらに、このことにより、大腸検査の敷居が大きく下がり検診の受診率が上がることも大腸CTのもたらす大きなメリットといっても過言ではないと言えるでしょう。



緑で表示されている部分が大腸です



仮想内視鏡画像



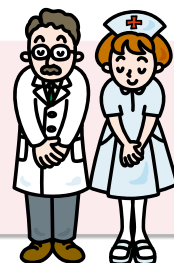
3D画像

●検査日時

**検査日：毎週月曜午後
(予約検査)**

大腸の様子が気にかかるが内視鏡検査やバリウム検査に抵抗がある方は大腸CT検査の実施を検討してみたいか？お気軽に当院受付にお問い合わせ下さい。

患者さんの要望もあり検討課題でもあった、
京都南病院1階（7番外来検査室横）のトイレの改修工事が終了しました。
改装工事中はご迷惑をおかけしました。



6月
28
2016

久世中学校での防煙授業に 当院新谷先生が参加しました。



体育館に集まった久世中学生約100人に、下京西部医師会会長の安田先生や看護師さん、南保健所の保健師さんとともに、「たばこ」の害について授業をしてきました。

病院でお会いする患者さん達は、「たばこ」の害はわかっているのにいったん吸い始めるとやめられずに苦労しておられる方が多く、子供のうちから「たばこ」の害と依存性について知識を深め吸い始めないことが重要と実感しています。

オーストラリアではたばこひと箱2,000円、口腔がん患者さんの患部の写真がパッケージに大きく載っている、コンビニでは子供が吸い始めないように「たばこ」は見えないところに隠して売っているなどの話を子供たちは熱心に聞いてくれ、「これで将来の肺気腫や肺癌の患者さんが何人か予防できたなあ」という感触を得ました。



南病院の肺癌患者さんからの「学生さん・たばこを吸い始めないで」という遺言メッセージも代読したところ静かに聞きいってくれ、みんなで「たばこ」による病気のために命を落としていった人々の無念を胸に刻みました。日本も批准しているFCTC(たばこ規制枠組み条約)について初めて聞いたという子供の声もありました。

目の前の患者さんの病気を治すことも大事ですが、もっと上流のところで病気の原因を絶ち健康に暮らすためにも、禁煙を社会全体に広めていきたいと思います。

(内科 新谷泰久)

ご挨拶

京都南病院 看護部長
堤 恵子



この度、7月1日から、京都南病院看護部長の重責を担うことになりました。着任にあたり一言ご挨拶申し上げます。

私は、看護学校を卒業してすぐに京都南病院に就職しました。いろいろな部署で経験を積み、南病院と共に歩んできました。その中で、最も私が影響を受けたのは在宅療養部で勤務した5年間でした。当時はまだ介護保険制度はなく、在宅で療養されている患者さんやご家族の方々を往診と訪問看護で支えていました。患者さんやご家族との交流はとても充実したもので、南病院の職員であることを誇らしく思いながら日々勤務していたことを懐かしく思い出します。その当時に私が感じた看護への満足感や使命感を次世代の看護師達にも感じて欲しいと思います。そして「やさしく安全な看護」という看護部の理念を次世代に絶えることなく伝えていくことが私に与えられた重要な役割のひとつと考えています。

今、各地方自治体では地域包括ケアシステム作りに取り組んでいますが、南病院グループが目指してきた医療は、まさに地域包括ケアそのものと思います。

これからも地域の皆様の医療、介護、健康を支える一翼として、信頼される看護部を築いていきたいと思ひます。何卒よろしくお願ひいたします。



南病院を退職して

第二南デイケア相談員 竹内義幸



この3月15日をもって、38年間お世話になった南病院を退職することになりました。思えば大阪の辺地、熊取町から毎日片道2時間を費やし、通いつづけたものだと自分自身でもその労力に、感心を通り越して呆れ返っているというのが正直な気持ちです。

距離にして約100キロ、京都府で例えると舞鶴市内から通っていることになり「毎日旅行みたいでええね」と冷かし半分に言われる方もいましたが、とてもそんな気分にはなれず、休日になると何処にも行かずに、家に引き籠もっているのが何よりの幸せでした。おかげで妻には、これまで退屈な思いをさせたと申し訳なく思っています。私が南病院に就職した1978年はちょうど小河先生が院長に就任された年で、南病院は地域医療の拠点機関として、細井総婦長が中心となり当時としては非常に珍しい、訪問看護事業を展開し始めた頃でもありました。細井総婦長と二人で、京都特有の狭い路地を、患者家族が待つ自宅を訪れ、膀胱洗浄や床ずれの治療などの医療処置が自宅内で提供されていたのです。時は流れ、1982年に訪問看護は武澤先生の指導の元、在宅療養部として独立し大々的に活動の範囲を広げて行きました。その範囲は京都市内に留まらず、八木町や山間部の花背にも赴き看護師の境春子さん達と切磋琢磨しながら、訪問活動したことが懐かしく思い出されます。

気ままな学生生活から、一転して医療の最前線に飛び込んだ私は、多くの戸惑いと感動の中で、南病院が目指す患者本意の地域医療に惹かれていきました。それは、これまで私が抱いていた医療機関のイメージとはまったく違った運営方針に感動さえ覚えました。「医療にかかれぬ人に医療を」の信念のもと、弱い立場にある人々への支援に情熱を注ぎ、院内では夜間透析の実施、図書館の設置、共催食堂の解放、ケア付き住宅の開設、ボランティアの導入、そして先述した訪問看護の前駆となるなど、斬新な施策を次々と打ち出す姿勢に、私はシャープ電機にも劣らないユニークな病院と感心しきりでした。また一方では自主的な住民組織として「自分たちの健康は自分たちで守ろう」とのスローガンのもと、活発な活動をしている南健康会の存在を知り、会員さんの問題意識の高さと「健康」の大切さを教えられました。初めて健康会の事務所を訪れた時に、新人である私に満面の笑顔で迎えてくれた役員さんや、会員の方々の温かさは今でも忘れることができません。

そうした状況を物語るように、当時の南病院は新聞の投稿欄などに「下京の親切病院」として紹介され、気さくな雰囲気が多くくの住民に愛されて、早朝から受診以外でも地域の人々が集う交流の場として愛されてきました。

夜は夜で、勤務を終えた多くの労働者が受診し、

独特なにぎわいの中で日夜、人々が絶えない空間でもありました。当初、小河院長の秘書として勤務していた私は、月曜日の夜診に補助として加わり終診時間が22時を過ぎるのが常で、終電車に間に合わず、仕方なく1階検査室のベッドで寝泊まりした事が懐かしく思い出されます。

一方、朝から始まった川合先生の診察が夕方4時近くになりその間、昼食も取らずに診察に専念する川合先生や看護師の越前屋さんの忍耐力と情熱には正直、頭が下がりました。その間、診察をじっと待ち続ける患者さんも大変な労力を費やしているにも拘わらず不平や不満を述べる人は皆無で、その状況を称して顔なじみの患者さんは「おれらは川合教の信者やから何時間でも待てるで」と冗談交じりに話されたことが忘れられません。

それほど、受診患者が多かったエピソードでもあり、朝から晩まで人々が絶え間なかったという証だったのです。そんな繁忙の時代を横目に、しばらくして医療界は国が推し進める医療費抑制政策の中で、長い冬の時代へ移行して行きました。全ての医療機関がもがき苦しみ、生き残りに奔走したのです。南病院も例外ではなく、多くの制約を受け院内では、危機対策委員会を立ち上げて、全職員が一丸となって打開策を模索し続けました。そうした経過の中で、カンフル剤として発足した新京都南病院は、多くの職員や地域住民に希望の光を灯してくれました。新病院の開設は整備が進まない京都の一次救急医療に大きな貢献をしたと言うことは揺るがない事実であり、地域住民への貢献度も大きいと言えます。しかし、その反面、接遇面では入院中に看護師から冷たい言動や態度を取られたと、怒りを露わにする患者さんや家族がいることも事実です。中には「下京の不親切病院」と辛辣な意見を述べる方もいます。こうした話を聞くと、同じ法人職員としてとても悲しい気持ちになります。医療不況の中、職場全体に閉塞感が漂い、その表情から余裕が消え、つい言葉足らずの対応になってしまうのだろうかと思案してしま

います。しかし、このような時であるからこそ、南病院の原点である3本柱の意義を職員全員が噛みしめて、歩いて行く必要が有るのではないのでしょうか。急激な高齢化社会を迎え、近辺にも一人暮らしの高齢者が増え、南病院の原点である地域医療の真価がますます問われる時代でもあります。これからも「社会の進歩に役立つ病院」として最新の医療技術を提供していくこともさることながら、常に患者さんや家族の立場にたった「みんなのかけがえのない病院」の意義を忘れてはなりません。私が38年間、席を置いた南病院グループがこれからも「よりよい医療をめざす病院」として、将来に渡り多くの人々に愛され続けてほしいと願ってやみません。今後は職員から、いち患者として南病院を見守っていきたいと考えています。

終わりに、こんな私を38年間も雇用してくださった南病院を始め、職員や関係者の皆様に、心より御礼を申し上げます。南病院での経験は、これからの人生への進むべき指針として活かしていきたいと考えています。また退職に伴い多くの患者家族の皆様や、親しくして頂いた職員の方々から、ねぎらいやお祝いのお言葉を頂き、皆様の真心に触れ幾度となく胸を熱くしました。本来なら個々に御挨拶に伺うべきではありますが、この紙面を借りまして心よりお礼を申し上げ、ご挨拶に代えさせていただきます。今日まで本当に有難うございました。



分院

※診療時間など詳細は、各分院にお問い合わせください。



医療法人 健康会

総合病院 京都南病院

〒600-8876 京都市下京区西七条南中野町 8

TEL 075-312-7361 (代表) / FAX 075-311-7965

標榜科目

内科、外科、小児科、婦人科、耳鼻いんこう科、眼科、皮膚科、泌尿器科、整形外科、脳神経外科、麻酔科、心療内科、リウマチ科、リハビリテーション科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、消化器外科、循環器内科、形成外科、こう門外科、放射線科、精神科、糖尿病内科

(精神科・心療内科は事前にお問い合わせください。)

診療時間

【月～金】 午前診 (受付) 8:30～12:00 (診察) 9:00～12:00

午後診 (受付) 13:30～16:30 (診察) 14:00～16:30

【土】 午前診 (受付) 8:30～12:00 (診察) 9:00～12:00

特殊外来は上記時間と異なりますのでお問い合わせください。

関連施設

介護老人保健施設ぬくもりの里
居宅介護支援事業所ぬくもりの里
ヘルパーステーションみなみ
グループホームぬくもりの里
居宅介護支援事業所京都南病院
健康管理センター (人間ドック・職域健診など)
在宅訪問センター
在宅療養部
訪問看護ステーションみなみ
訪問リハビリテーション
サービス付き高齢者向け住宅 伏見ぬくもりの里
社会福祉法人 京都南山城会 山城ぬくもりの里

新京都南病院

〒600-8861 京都市下京区七条御所ノ内北町 94 番地

TEL 075-322-3344

【急患対応のご案内】

日・祝日を含む上記時間以外の時間外診療および救急車での来院については、すべて新京都南病院で診療いたします。

(受付時間) 9:00～12:00 (診療時間) 9:30～12:00

午前診	診療科目	月	火	水	木	金	土
	総合外来	上西基弘	清水聡	陳明俊	清水聡 鉄谷耕平	清水聡	清水聡

(受付時間) 16:30～19:30 (診療時間) 17:00～19:30

夜診	診療科目	月	火	水	木	金	土
	内科	重本直柔	新谷泰久	第1・3週 國吉達也 第2・4・5週 交替制(17:30～)	第1・3週 藤本行紀 第2・4・5週 大坂貴史	古石隆光	—
	外科	陳明俊	廣間文彦	交替制 (17:30～)	鷹野留美	相馬祐人	—

●お薬は「院外処方」になります。

●夜診は「内科」・「外科」の2診察体制です。

●水曜日は診療開始時間が17:30からになります。

医療法人 健康会
京都南病院グループ

メールアドレス: minami_kouhou@kyotominami.or.jp

http://www.kyotominami.or.jp/